SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：中村製材株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		朝礼等、定例会合を行うことにより、従業員一同が社内の重要事項を共有している。経営理念の浸透により、社員一人一人が仕事に対しての目標・役割を認識している								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		会社規定集を策定し従業員へ周知徹底を図っている。 又、社内掲示板を活用し必要事項の周知を徹底している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		不正競争行為が行われない様、全従業員に対し守秘義務を徹底している。 公正な取引が行われるよう担当職員と役員で二重チェックを行い、不正が行われないよう管理をしている。また社外監査役を設けている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		現場監督責任者、各課の課長・工場長・班長を任命し、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応できる責任者を設けている。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		当社は森林保全取り組みの為、山林を間伐等により育林しており、【ほほえみの森】として商標登録を行っている。他者の知的財産の侵害防止の為、知的財産に関する勉強会を実施している。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護法に基づき、個人識別情報については、厳格に管理を行っている。又、情報漏洩防止の為、機密事項に関しては厳格な保管・管理がなされており、社内でも限られた人物のみが閲覧できる体制を整えている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		顧客の声、従業員の声を聞き、コミュニケーション向上を図ると共に、お客様へのサービス提供、安心安全でご満足頂ける製品の販売に努め、会社としての責任を果たしている。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	合法木材の事業体認定を受けて、合法的に伐採された木材のみを使用している。取引先と協力をし、合法木材の流通に努めている					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	事業継続計画書（BCP）を策定し事務所・休憩所へ設置。防災時の対応を全従業員へ周知している。災害や事故に備え、防災マニュアルを作成し、防災マップを掲示している。社員全員に防災時の対応を指導している。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	事業承継を円滑に行うために担当税理士と連携を行っている。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		差別・人権侵害について禁止している。環境変化に伴う風評リスクについても厳重注意をし、社内教育を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		事故への備えとし、安全管理責任者を任命している。安全対策に配慮し、事故防止を徹底している。安全設備の設置・安全用品の装着・安全標識の掲示を徹底している。電気工作物使用に関し、管理事務所の定期検査を実施し、無害化処理を行うことで、波及事故を防ぐための対策等を講じている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		社内規則に基づき、雇用契約を締結し、締結時に従業員に対し、労働条件通知を明確に行うことで、公正な労働契約を結んでいる。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		36協定を締結し、労働時間管理の徹底を行っている。また、従業員が働きやすい職場環境を整えており、有給休暇取得等については、要望対応し、家庭と仕事の両立ができるよう環境を整えている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		積極的に各種研修会に参加を促進することで、社員の能力向上・意識向上に務めている。良好な職場環境のもと、部下の育成に務め、適正なマネジメントを行っている。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		従業員の健康管理を行う上で、年に一度、医療機関を受診し、従業員の健康診断を実施している。事務所には医薬品会社の常備薬を備え付けており、急な応急処置が必要な場合にも対応できるように体制を整えている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		多様性を活かし、女性を管理職に置くことで女性活躍推進に努めている。又、高齢者の雇用継続を推進することで、高齢者の豊富な知識や経験を活かし、従業員のスキル向上・育成にもつなげている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：中村製材株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		環境汚染に配慮し、廃棄物の低減に努めている。木材製品製造の際に出される廃材・木の皮/大鋸屑等は再利用のため、リサイクル回収業者や畜産農家による引取りが行われている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電力管理事務所と契約を結び毎月の点検測定を記録している。またガス使用量・ガソリン使用量を把握し、その削減に努めている。エネルギー使用量削減への取り組みの一環として、事務所・工場内の電灯は全てLED照明への取り換え作業が完了している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		管理会社へ業務委託を行っている。点検測定記録表を作成し、自社の温室効果ガスの排出量を把握している。温暖化対策の一環として、CO^2削減のため、木材製品は人工乾燥材ではなく、自然乾燥材を製造している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		【ほほえみの森】を掲げ、商標登録が完了し、森林保全活動を積極的に行っている。森林の保全を行うことで、自然環境の整備が整い、森が育つことで、生態系の生育にも良い影響を与えている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		廃材等については、CO^2削減のため焼却処分をせず、リサイクル回収業者と連携し再利用を促進している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		水源かん養保安林を所有し水資源の保全に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		合法的に伐採された木材のみを原料として製品を製造している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	緑の保全管理について、熊本県からの森林所有権移転あっせんに関して、積極的に受入れをし、山林の手入れ、長期育成に貢献している。会社の外壁についてはコンクリート塀を使用せず、樹木や植伐での生垣を行うことで、近隣住宅地への防音効果・火災の際の延焼の抑制、防風対策もできている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	木材の乾燥にボイラーを使用せず、天日干しによる乾燥を行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	【ほほえみの森】森林育成・保全活動を県内各地に広げる活動を継続的に行っている。健全な森を育む林業経営者として熊本県から認定を受け、森の担い手に登録をしている。手入れが行き届いた森林整備を行うことを目的とし、現在進行している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	山林や農地へ植林を行うことで、森林整備活動に取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	環境にやさしいエコ商品の使用拡大やペットボトルキャップの回収等に努めている。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：中村製材株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		木材製品の出荷において、品質管理の徹底を行っている。製品の用途別に樹種・種類・強度や見栄えの等級、寸法、乾燥処理等全てを確認することで、安全性の確認や品質向上に努めいている			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		ユニバーサルデザイン7原則に則ったサービス提供を実現している。当社の主な取引先は建設会社や工務店が主ですが、一般の個人の顧客に対しても小売りを行っており、誰もが利用できるようなサービスを提供している。 製品は規格寸法以外にも使用用途に合わせて製造し、顧客の要望に柔軟に対応している。自由に製品を選択頂けるよう、製品格納庫の配置を考慮したり、顧客の用途に応じて必要な情報の提供ができるよう様々なカタログやサンプル等も取り揃えている。製品の安全性確保のため、品質向上に努めている。天然木材製品の使用により、断熱・保湿効果・細菌の抑制・強度・耐久性等、人に優しく暮らしに役立つ製品を販売している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	主に熊本県内の山林で伐採された原木を原材料として使用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	自社の執務室は天井・床・壁等の内装や外壁は木材を使用しており、木材建築における木質化を推進している。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	製材業は自然・森林に関わる性質上、森林整備は水源保全・生物多様性保全・土壌保全など、様々な分野とも繋がっており、当社は、継続的な森林整備を行うことで、社会課題解決についても大きく寄与している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		町会・自治活動にて行われる行事等に際し、地域と連携し、様々な協力を行っている。又、活動支援の一環として、寄付金を寄与することで、地域活動へ大きく役立てて頂いている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		防災対策の強化に努めている。事業所内に、防災対策のための消火器・火災報知器を完備している（14箇所設置）。災害マップを掲示し緊急時に想定される危険を予測し避難場所等の確認を行っている。二次災害に備え、日頃より古くなった建物等の点検を行い必要に応じて修繕を行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	地域防災の担い手として地元消防団に入団している職員が多数おり、勤務中においても要請があればすみやかに出動できるような環境づくりをしている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	社内でSDGsに対する社内教育が行われ、基礎的な知識の習得など、意識が浸透している。また取引企業へ自社のSDGsに関する取組み内容を紹介している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	小学校へ出張授業（木工教室開催）を行ったり、地域の児童・保護者に対し職場見学の受入を行っている。また就職のための職場見学の研修生の受入を行っている。 さらに自伐型林業研修会の講演を行い、自社の取組みについて紹介を行ったりしている。今後も様々なご依頼に対し受入を行っていく意向。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。